

ピアネット monthly Oct 2016



★ピアネットマンスリーの発行について

ピアネットマンスリーは各団体の活動状況に合わせて定期的に発行していきます。《ピアネット運営事務局》



ピアネット合同企画

ピアネット学生スタッフ合同研修会を実施しました！

7月30日(土)、ピアネット実行委員会主催で、「ピアネット学生スタッフ合同研修会」を実施し、51名の学生が参加しました。ピアネットでは、所属する各ユニットのプログラムの充実と連携を図るために、毎年2回、合同研修会を実施しています。今回は、課外教養プログラムプロジェクト(KYOPRO)スタッフ、ボランティアセンター学生スタッフ(VSP・チームオレンジ)、オープンキャンパススタッフ(市ヶ谷・多摩・小金井)、学生FDスタッフ、学習ステーションスタッフが、全員そろって、大学のバスで市ヶ谷キャンパスから多摩キャンパスに移動し、研修を行いました。研修の内容は、「多摩キャンパスのおすすめスポット」をテーマとするグループワーク(取材・プレゼンテーション準備)およびプレゼンテーションです。プレゼンテーションの前には、経済学部食堂横でバーベキューを楽しみました。グループワークでは、学生たちは異なるユニットからなる9つのチームに分かれ、教職員も取材時に付き添いとして各チームに1名ずつ参加しました。晴天のもと、各チームは、バスでの移動中に検討したスポットを巡りながら取材を行いました。実際に歩いてみることで、多くの魅力的なスポットが新たに見つかったようです。プレゼンテーションでは、「図書館のクリエイティブルームが、個人でもグループでもゆったり勉強するのにぴったりです!」、「城山地区には馬場があり、カワイイ馬たちに出会えます!」、「社会学部棟から見える自然豊かな景色には癒されます!」など、学生らしい視点からのおすすめスポットが発表されました。今後も各々のユニットにおける活動はもちろんのこと、ピアネット全体としての活動も積極的に展開していきたいと考えており、ピアネット実行委員会ではこのような研修を継続的に行っていきます。



大学のバスで市ヶ谷キャンパスから多摩キャンパスへ



グループワークでは活発に意見を出し合いました



撮影した写真を見せながら、おすすめスポットの発表



学生・教職員が協働で取り組んだ充実した研修会となりました。



ボランティアセンター

「東北被災地ボランティアツアー」を実施しました！



8月22日(月)~9月1日(木)、ボランティアセンターでは、岩手県遠野市をベースキャンプにし、陸前高田市、大槌町で通算27~30次隊となる「東北被災地ボランティアツアー」を実施し、総勢48名の学生が参加しました。現地では、「遠野山・里・暮らしネット」のコーディネートの下、仮設住宅から公営住宅への引越、ビニールハウス(トマト)の整備、ニンニク農家の補助作業、公営住宅での昼食づくりなどの様々なボランティア活動を実施しました。また研修も兼ね、被災地の見学会や三陸鉄道学習列車にも乗車しました。

現地に向かう前にはボランティアの心得や注意事項、現地の現状等についての事前研修を実施し、帰着後には報告会を開催し、隊ごとに活動発表を行い、情報を共有しました。

また、ボランティアセンター学生スタッフであるチーム・オレンジが、本プログラムを実施する前に、法政大学の被災地支援の取り組みを知ってもらうため、「チーオレ新聞」を作成し、ボランティアの受け入れ先に配布しました。また新聞を渡す際にどのようなボランティアを実施するかを取材し、事前説明会時に参加学生にボランティア内容を伝えることによって、学生が想像しているボランティアと実際行うボランティアとのギャップを埋めることが出来ました。



仮設住宅から公営住宅への引越の手伝い



参加者からの感想



公営住宅での昼食づくり(手巻き寿司、なべやき)

東日本大震災から5年が経過し、テレビや新聞から情報を収集していたため、震災についてはもうほぼ知っていることしかないだろうと思っていたが、資料館の写真を見たり、現地の人の声を聞いたりして、知らなかったことがいっぱいあった。仮設住宅での交流会のとき、「来てくれてありがとう、頑張って」と言って下さり、私たちが元気をもらった。「来てくれてありがとう」という言葉は本当に嬉しく、また力になりたいと思うことが出来た。短い間だったが、貴重な体験が出来てよかった。



仮設住宅での交流会

三陸鉄道の視察、まき割り、仮設住宅・公営住宅での交流会、どれも私にとってははじめてのことで多くのことを知れたと同時に、もっと早くその事実を知るために行動していればよかったという後悔もあります。ただ現地の人たちは私たちが来てくれたことにありがとうという言葉をかけてくれ、復興への前向きな姿を見ることが出来ました。そういった人々の思いを今回だけで終わりにするのではなく次につながる取り組みをしていきたいと思いました。

また、過去を悔やむばかりではなく、復興に向け出来ることを考え、前向きに生きることが必要だと感じました。



薪割りボランティア後の集合写真



「コーヒーから学ぶビジネスの世界」を実施しました！

7月15日(金)、市ヶ谷キャンパスにて学生センター・課外教養プログラム「コーヒーから学ぶビジネスの世界」を実施しました。

講師は金沢大学名誉教授、日本コーヒー文化学会副会長の廣瀬幸雄先生に依頼しました。当プログラムは学生がコーヒーをきっかけにして経済やビジネス関心をもってもらうことを目的としました。コーヒー豆は世界中で取引されている生産品であるため貿易という観点から経済を知ることが出来ます。

また近年、コンビニのセルフ式ドリップコーヒーやサードウェーブと呼ばれるハンドドリップコーヒーが流行したこともあり、コーヒーはビジネスの観点から注目されています。身近なものを学問としてとらえ、日常生活がより豊かになることを願って当企画を実施しました。講座では、コーヒーの価格形成や流通などの経済的視点から、起業やカフェ経営などのコーヒービジネスについて学びました。コーヒーの原価から販売されるまでの価格変化やコーヒーの特性、歴史的背景を学び、どのようにコーヒービジネスが成り立っているのか具体的な事例から知ることができました。身近なものであるのに、初めて知るようなことばかりだったのでとても勉強になりました。

また資料が充実していたので、熱心にメモを取りながら講義を受けていました。

さらに、おいしいコーヒーの飲み方も学び、講師が開発したコーヒーを淹れて参加者に飲んでもらいました。

参加者はコーヒーを飲みながら、そのおいしさの理由を講師に質問していました。参加者からは

「企業ごとのコーヒー分析が興味深かった」、「コーヒーがおいしかった」、「コーヒーとビジネスという関係が面白いと思った」

などの感想が寄せられました。参加者に学んでもらいたいことがそのまま伝わっていたのでうれしかったです。この企画を経て、

カフェやコンビニでコーヒーを買うときはコーヒーの価格や流通、種類に目を向け、また販売方法やアピール方法を意識して、コーヒービジネスにさらに関心を持っていただきたいです。また、自身でコーヒーを淹れるときはコーヒーの挽き方やお湯の注ぎ方を今回学んだ方法を用いて、おいしいコーヒーを作っていきたいです。



おいしいコーヒーを飲みながら受講



集合写真



オープンキャンパススタッフ

2016年度のオープンキャンパスが終了しました！

8月27日(土)の小金井オープンキャンパスをもって、2016年度のオープンキャンパスが終了し、合計で約37,000人の高校生・保護者の皆さんにご来場いただきました。

オープンキャンパススタッフの学生は、本来の後輩のために！と半年ほどかけて準備を進めてきました。来場者の皆さんに、受験勉強の不安を少しでも和らげてもらい、また大学のへの期待を高めてもらえるように各種プログラムを実施しました。



学部企画の様子(市ヶ谷)



個別相談の様子(多摩)



キャンパスツアーの様子(小金井)

学生FDスタッフ

『法政大学にこのような授業があります!』を市ヶ谷オープンキャンパスで実施しました!

8月7日・21日・22日のオープンキャンパス(市ヶ谷キャンパス)で学生FDスタッフによる『法政大学にこのような授業があります!』を実施しました。

大学生になって、講義に参加する際に、必ず耳にする「単位」「履修」「シラバス」「ゼミ」の説明を通じて、大学の学習・講義の仕組みを紹介しながら、特色ある授業のシラバスも紹介しました。質疑応答が活発に行われ、充実したプログラムとなりました。

参加者からの感想

- ・単位やシラバスの説明で、わかりやすい具体例などを挙げていて良かったです。
- ・高校とは違う大学の仕組みを分かりやすく学べて良かったです。
- ・在学生の体験を生で聞け、パンフレットだけではわからないことまで知れて、良い企画だと思いました。



学生FDスタッフによる単位やシラバス等の紹介

ライブラリーサポーター(多摩)

『図書館ツアー』を多摩オープンキャンパスで実施しました!

8月6日(土)・20日(土)に行われた多摩オープンキャンパスにて、ライブラリーサポーターによる多摩図書館案内ツアーを実施しました。2日間で述べ109名(そのほか自由見学は605名)の方がツアーへご参加くださり、蔵書数の多さやアクティブラーニング施設の様子など、大学図書館ならではの特色を紹介できる機会となりました。ツアーを担当した学生は高校生と年齢が近いこともあり、図書館の説明に加え、自身の入学体験や多摩キャンパスでの生活のことなどざっくばらんに話ながら、和やかな雰囲気でお案内することができました。



図書館ツアーの様子



◆編集後記◆

ピアニット学生スタッフ合同研修会が無事終了しました。学生は、他の団体の学生スタッフとの交流により、自らの活動だけでは得られなかった気付きや発見があったようです。12月にはシンポジウムの開催を予定しており、各ユニットの活動報告とパネルディスカッションを行います。

